



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月 2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7：00
(但し、12月・4月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌々週火曜日 午後6：00

2018年9月号ブリテン 第338号

2018-2019年度主題(Theme)

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

To acknowledge the duty that accompanies every right

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う

「私たちは変えられる」 (韓国)

「Action！」 (東日本区)

「為せは、成る」 (東京武蔵野多摩)

「未来はそれに備える人のためのものである」(甲府21)

「新しい仲間を増やして新たな出発を」

会長 大谷博愛
副会長 小山憲彦
書記 御園生好子
会計 小山久恵
直前会長 江原修一
担当主事 大津桃子

Our Motto 国際標語
国際会長 Moon Sang-bong
アジア会長 田中博之
東日本区理事 宮内友弥
あずさ部部长 廣瀬健
サンライズ会長 大谷博愛

9月第一例会のお知らせ

8月納涼例会のつぶやき報告

江原修一

とき 9月13日(木曜日) 19:00~
ところ 東京YMCA本部会議室
かいひ 500円
とうばん (参組)御園生、大谷、河野、菅原、中馬

8月22日(水)16時開会 保谷駅4分三陽寿司にて

8月の例会は第一例会+第二例会=納涼例会と云う計算式に成りました。東京八王子クラブの久保田さんが参加されて、総勢11人の構成でした。大谷会長の代わりに、徹さんのピアグラス開会点鐘で始まりました。連絡・報告は記載する様な事は特に有りませんでした。

納涼例会は三陽寿司の2階宴会場を貸切り、ビールの乾杯で始まりました。最初に枝豆・板わさが出ました、ここの板わさは流石に寿司屋だけあって本物です。スーパーの蒲鉾と違い歯応えに「足」があります。ここで云う「足」とは麺類で云う「コシ」の事です。江戸の食通が使い始めた表現ではないかと推測致します「粋だねー」。

【次頁へ続く】



◆プログラム

開会点鐘 会長
ワイズソング・ワイズの信条 一同
ゲスト・ビジターの紹介 会長
あずさ部部长公式訪問 廣瀬部長
卓話『介護が必要となっても自宅で過ごす』 井上貴美子さん
さくらモンデックス青山治療院 代表
テイスティング・タイム 一同
ハッピーバースデー 会長
協議・報告・連絡事項 会長・各担当
ハッピーバースデー 会長
にこにこ・一分間スピーチ 出席者全員
閉会点鐘 会長

本音で語ろう会 例会の続きを“本気”で“本音”で

9月以降の予告

9月25日(火) 第二例会 四谷・同盟会館 18:00~
10月 9日(木) 第一例会 東京YMCA本部 19:00~
10月20日(土) あずさ部部会 甲府21 時間未定
10月28日(日) 第二(お散歩)例会 牛久(予定) 12:00~

9月のハッピーバースデー

18日 江原修一さん

ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう
青少年のためにYMCAに尽くそう
世界的視野を持って国際親善を計ろう
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよ

8月例会出席者

在籍 (内広義会員 3名) 15名
メン (Make up 1名) 10名
メネット・コメット 0名
ゲスト・ビジター 2名
出席率 83%

●8月のBF切手：0.0kg(累計：0.0kg)

●ニコニコ：0円(累計：9,761円)

●プルタブ：0.0kg(累計：0.0kg)

ここで板わさにまつわる話です。『蕎麦屋で勝海舟が使者に行く前日の山岡鉄舟と、板わさをつまみに熱燗をやりながら呑んでいた時の会話。勝；「鉄つつあん、この板わさ足があって馬鹿旨だねー。明日西郷さんに土産で届けてやっちゃーどうだい。この板わさ食ったら、無理矢理お城に入ろうとは、思わね一箸だよ」。山岡；「そいつぁー良い考えーだ、上手くいったら帰りに西郷さんから 産にさつま揚げでも頂戴して、つまみで一杯やるか」。勝；「そいつぁー良いや、てな訳で親父板わさ土産に包んでくんな」と言う前談があり、山岡鉄舟は見事に使者を勤め、その後の勝海舟と西郷隆盛との会話も首尾よく進み、江戸城無血開城が成ったのでした。この話は学校で教えてくれないかも知れませんが、板わさが無ければ歴史が変わったかも知れないと云うお話でした。』

閑話休題 それから 刺し盛り・あんきも・漬物・かんぴょう巻等が出ました。かんぴょう巻には通常わさびは入っていないのですが、憲さんのアイデアで最初に頼んで旨かったので、以後定着しました。我々がここに来ると必ず注文します。さて、そろそろ鰻にしようかとなり、うな重10名・蒲焼1名で注文しました。同じ値段のを注文しましたが、蒲焼の方がひとまわり大きい様に見えました。鰻の大きさの事を云うと又、大谷会長に怒られそうです。さて蒲焼を注文したのは誰でしょう？正解の方はうな重に肝吸い・おしんこが付きます。



【鰻の登場です。肝吸い付きでなんと2,200円です。】

8時前に皆お腹が一杯のようなのでお勘定をしてお開きに成りました。なんだか三陽寿司の宣伝の様に成ってしまい申し訳ありません。時間も早し、さてもう一軒と思いましたが、うな重で腹いっぱいなのでこれで解散と成りました。

出席：久保田さん(東京八王子)、正村さん(参遊會) 大谷さん、小山(憲)さん、小山(久)さん、菰渕さん、柴田さん、立田さん、長津さん、御園生さん、江原

国際大会に参加

小山久恵

8月9日(木)から12日(日)まで、韓国麗水市において第73回国際大会が開催されました。韓国からの出席者は2000人、いや2500人だとか、韓国以外からは400人、いいえもっと少なく200人ぐらいだとか。出席者名簿がなかったため、誰が参加しているのかもわからず、参加人数も、人によって数が違い、はっきりとは言えません。我がクラブからは私だけ

で、あずさ部からは宮内理事と東京八王子の久保田夫妻の4人だけでした。

会場は海洋博が行われたところで、広大な敷地にいくつも似たようなビルが建ち並び、プログラム毎に違うビルに移動しなければなりませんでした。

最初に、受付場所がわからず、聞く人によって違う場所を教えられ、あちこち右往左往しました。この聞く人によって言う事が違うという現象は、大会を通して色々な場面で起こり、非韓国人達は大いに困りました。結局、受け付けは特別に冷房の効いたVIPルームですませ、あまり厳かではない開会式から出ました。キャンドルになかなか火がつかず、フラッグセレモニーが始まり、来賓紹介と祝辞、この日を迎えるまでの苦勞と努力をまとめたビデオ、役員交代式が続きました。文大統領もビデオで挨拶をしていました。講演は韓国語だったのでパスしました。(後で英語でも話していたそうです。)

夕食は3日間ビュッフェ形式で、内容は私の望み通り韓国料理でした。昼食のお弁当も韓国料理だったため、飽きたという人もいらしたけれど、私は満足でした。先回の釜山では、ひたすら美味しくもないステーキ責めで、食事にはガッカリしたのを思い出し、今回はそれだけでも行った甲斐がありました。

食事は決められた場所で空いているテーブルで好き勝手に取り、その後場所を変えて、夜のプログラムになります。

初日の夜は、例の如く役職者の紹介と挨拶があり、バランタイム賞には、東京江東クラブの元国際会長の藤井さんに授与されました。時間の関係で、感動の受賞挨拶は最終日に行われましたが、日本人として誇らしく感じました。

この夜は麗水市の誇るビッグオーショーがありました。花火と噴水の踊り、そして、訳の分からない映像が映し出されるというショーでした。ショーが終わり、真っ暗になって道に迷い、その辺にいる人に片っ端から聞き回り、通じず、泣きそうになりながら、徒歩2分のところにあるホテルに、30分以上かかってようやく辿り着きました。

2日目の午前西村さんの報告と分科会で、私は真面目にCS事業のフォーラムに参加しました。

午後はエクスカッションで、オドン島ツアーに加わりました。私の乗ったバスには日本人は一人だけでしたが、知り合いが結構いて、ロープウェイに乗り、素晴らしい景色を堪能し、山道を歩くという楽しい遠足でした。道中に男性のシンボルの木というのがあり、ご婦人方がキャーキャー言いながら大喜びで、バシャバシャ写真を撮っていました。「誰に見せるの？」って聞いたら「子ども達によ。」ですって。彼女達は大らかです。

IPEナイトでは、次期会長のジェニファーが演説し、各エリアからの演し物が披露され、ケニアの人達の歌で、会場がダンスホールになりました。

3日目はアジア、南太平洋地域会議に出席。交代式の後、アジア・南太平洋地域会長のヒロ(田中さん)の挨拶、各エリアの理事報告というところで、栗本東日本区直前理事はとても要領良く話したのに、後はしまりがなく、途中退席しました。

午後のプログラムがまた素晴らしく、コンサートとナンタというお芝居を見ました。オーケストラの演奏、オペラ歌手の歌、何度見ても笑えるナンタ。

夜の IPナイトでもこのオーケストラと歌手が出演し、ま

たまた感動を与えてくれました。今回の大会における音楽のレベルが高く、これらのパフォーマンスを生で聴けたことは大きな喜びでした。

最終日にはユースの報告と藤井さんの喜びの声、そして、ワイズ歴50年以上という事で、村野さんが表彰されました。

次の予定が迫ったため、最後までいることができず、他国の人達にさよならを言えず会場を去りましたが、また仙台で会えます。

全体を通して、国際大会というより韓国地域大会にお邪魔させていただきましたという印象でした。彼等の名札がハンダグで書かれ、スピーチは先ず韓国語からという具合。でも韓国のメンバーは陽気で親切だったし、韓国料理を食し、レベルの高いパフォーマンスを楽しむ事ができ、一人ぼっこの国際大会参加も良いものでした。各プログラムにもほとんど参加しましたよ。

東京サンライズ30周年記念祝会

東京サンライズ30周年実行委員会

1988年9月28日朝7時、台風の余波の大雨の中、記念すべき第1回の仮例会が開かれました。その後、1989年2月18日に東京YMCA山手センターで設立総会、5月27日～28日に東京YMCA山中湖センターでチャーターナイトを行い、来年は30周年を迎えます。6月の区大会ホストの関係も有り、記念祝会は3月23日(土)の開催に決まりました。実行委員会の準備も始まりました。全員の協力と出席をお願いします。

強調月間：ユース

ユース委員会

ユース事業の内訳

1. YIA(Youth Involvement and Activities)

ワイズメンズクラブが行なう様々なプログラムに若者を巻き込むことを実践する。

①ユースコンボケーション(国際大会・地域大会へのユースの派遣)の支援

②ユースボランティア・リーダーズフォーラム開催(経験の浅いYMCAのリーダーへの合宿リーダートレーニングをYMCAの協力で開催)

③ユースクラブ設立支援

2. YEEP(Youth Educational Exchange Program)

3. STEP(Short Term Youth Exchange Program)

4. メールマガジンの発行

西条 便り

今月の京都プリンスクラブ

山中湖センターだより

それぞれ今月は休載します。

久保田貞視さん(東京八王子)

前回、この欄に書かせていただいたのはもう14年前になる。初孫の名前が「マリン」で祖父(私の父)が海軍であったことから引用したのかと推測した文章であった。

毎年8月になると終戦と共に大東亜戦争を思い出す。自分が「ひよこ」であった昭和17年1月11日、日本海軍の落下傘部隊(横須賀鎮守府第一特別陸戦隊)堀内豊秋司令(中佐・大隊長)率いる519名はインドネシア・メナドのオランダ軍のランゴアン飛行場に落下傘で降下、占領した。父も当時、小隊長として参加していた。堀内司令の軍政は僅か5カ月であったが、先ず住民に危害を与えてはいけなく、として住民の生活安定、人心安定を重点に、税金の軽減、「塩」の採取指導、更に、当時の現地の少年に日本語と日本の歌を教え、日本食を振舞った。

それから50年、現地の市長等の招待で当時の落下傘部隊の海軍兵士及び海軍兵学校で堀内司令の指導を受けた78期の元生徒、合計100名に香港から加わった自分も含めた一行が現地に飛び、平成4年1月11日、元飛行場跡で大天幕を張られ、住民200名参加して慰霊のための黙祷と共に盛大な歓迎パーティーが開催された。地元の声楽家の日本の歌に現地の住民は殆ど一緒に歌っているのを聞いて住民に問うたところ、子供の頃、日本兵から日本語と歌を教してもらい食事もご馳走になったとニコニコして日本語で答えた。その後、現地市長宅でもガーデンパーティーが開かれ、最終日の別れのパーティーでは歌あり、ダンスありで心のこもったもてなしに日本からの一行は感動した。

このように、日本軍の占領地での善政は司令が誰かによるが、現地の人には何年たっても心に残っており、その後の占領政策は決して良かったと言えないとしても、現地の人々の日本びいきの原因となっていると思われる。

海軍落下傘部隊の隊員は、館山市の安房神社で安全祈願の参拝をし、館山の海軍飛行場(現海上自衛隊館山飛行場)から飛び立ったため、戦後、元兵士達は安房神社に慰霊碑を建立し、最近まで毎年、ここに集い、慰霊祭を開いていた。父も慰霊碑の発起人の一人で、毎年慰霊祭に参加していたが、戦争の話は、このメナド降下以外は殆ど話をしたことはなかった。おそらく他の戦友たちも同じであったと推察できる。戦争は当事者である軍人のみならず被害を受けた住民にとっては悲惨であり、二度とあってはならないし、思い出したくないものであろう。戦後の平和のお蔭で日本は経済も発展し、今がある。今後とも戦争は絶対に回避し、平和を維持することは未来に向けて子孫のためにも必要であり、私達の責務である。

お散歩例会

お散歩委員会

10月第二例会はお散歩例会です。10月28日(日)12時に、今回はちょっと足を延ばして、JR常磐線「牛久駅」に集合の予定です。日本最初の本格的なワイン醸造場牛久シャトーを見学の予定です。ここは浅草神谷パーの創業者神谷傳兵衛さん(東京北クラブの神谷さんの先代)が始められたワイナリーで、2016年に英国のワールドビアアワードで世界一になった美味しいビールも作っています。ご期待ください。

2018年9月1日発行

東日本区理事 宮内友弥

メンバーの皆さまには、会長よりメール添付で配信します。

ご近所のクラブでは

交流委員会

あずさ部では部内交流に力を入れております。隣のクラブをのぞいて見ることでワイズの輪が広がり、ワイズの和も深まります。

- ◇ 9月 4日(火)19:00～ 甲府21クラブ
- ◇ 9月 8日(土)18:00～ 東京八王子クラブ
- ◇ 9月 8日(土)18:30～ 松本クラブ
- ◇ 9月11日(火)18:30～ 東京たんぼぼクラブ
- ◇ 9月11日(火)18:45～ 甲府クラブ
- ◇ 9月12日(水)19:00～ 東京武蔵野多摩クラブ
- ◇ 9月14日(金)20:00～ 富士五湖クラブ
- ◇ 9月18日(火)18:30～ 東京山手クラブ
- ◇ 9月19日(水)18:30～ 長野クラブ
- ◇ 9月20日(木)18:45～ 東京西クラブ
- ◆ 9月23日(日)10:00～ 東京YMCAチャリティーラン
- ◇10月 2日(火)19:00～ 甲府21クラブ
- ◇10月 9日(火)18:30～ 東京たんぼぼクラブ
- ◇10月 9日(火)18:45～ 甲府クラブ
- ◇10月10日(水)19:00～ 東京武蔵野多摩クラブ
- ◇10月12日(金)20:00～ 富士五湖クラブ
- ◇10月13日(土)18:00～ 東京八王子クラブ
- ◇10月13日(土)18:30～ 松本クラブ
- ◇10月16日(火)18:30～ 東京山手クラブ
- ◇10月17日(水)18:30～ 長野クラブ
- ◆10月20日(土)時間未定 あずさ部部会/甲府・岡島会館
部会は年に一度のあずさ部の大会です。全員参加しましょう。

富士山例会

交流委員会

富士山五合目「佐藤小屋」で開催される、富士五湖・サンライズBBQ合同例会です。今年は9月29日(土)～30日(日)。京都プリンスからの参加もあります。ぜひご参加ください。

会費納入のお願い

今年度第1期の会費の納入期限は8月末日ですので、お忘れなく納入をお願い致します。

- 一括納入 一括全納 (8月末まで) 48,000円
 - 二回分割納入 各回毎に (8,1月末まで) 24,000円
- ※本年度も災害時積立て金として、初回納入時のみ2,000円を追加して納めてください。年額合計50,000円になります。
- 三井住友銀行 恵比寿支店 普通口座：6762355
○口座名 東京サンライズワイズメンズクラブ

YMCA News

山手センター 大津桃子さん

1. 全国YMCAが協力し、西日本豪雨災害被災者支援のため、2,500万円の目標額を掲げ募金活動を展開している。

募金を用いた支援活動として、広島YMCAが主管となり、8月～9月に計5回にわたり全国YMCAからボランティアを受け入れ、家屋の泥だしなどのワークを行なう。また被災した小学生を対象としたリフレッシュキャンプも実施する。

2. 8月6日～10日、東京YMCAとパートナーシップ関係にあるソウルYMCAの主管により「第9回キッズワールドカップ in 韓国」がソウルYMCAのキャンプ場にて開催され、東京YMCAから小学生7名と、神保伊和雄氏(国際委員)、引率として米澤竜彦(江東コミュニティセンター)、李善姫(東陽町語学教育センター)が参加した。
3. 8月25日、会員部主催による恒例の「夏まつり」が東陽町センターを会場に開催された。会員やワイズメン、学生、メンバー、スタッフ等が、模擬店や子どもコーナー、被災地物品販売など、計14のブースを担当し、またジャズバンドの演奏や抽選会も催された。地域の子どもたちやYMCA関係者が集い、楽しく交流がはかられた。益金は会員活動のために用いられる。
4. 7月に開催された「第19回世界YMCA大会」にて、現在YMCAは、世界120の国と地域にあり、会員や職員、参加者など総計約6,500万人が活動していることが、世界YMCA同盟(スイス・ジュネーブ)より発表された。これは175年のYMCAの歴史の中でも最も多い数で、特に30歳以下の若い世代が全体の64%を占めている。
5. 今後の行事日程

- ・国際協力一斉街頭募金 9月15日 (新宿駅周辺)
- ・第32回インターナショナル・チャリティーラン 9月23日 (都立木場公園)
- ・高等学院チャリティーコンサート 9月28日 (日本基督教団霊南坂教会)
出演：飯靖子氏(オルガン)・飯頭氏(ヴィオラ)
- ・第35回会員ソフトボール大会 10月8日(出版健康保健組合大宮運動場)
- ・第20回STT(ソウル・台北・東京YMCA指導者協議会) 10月24日～26日(ソウルYMCA)
- ・第20回日本YMCA大会 11月23日～25日 (日本YMCA同盟東山荘)

6. 感謝

- ・株式会社木村洋行より、西日本豪雨災害募金に200万円のご寄付をいただいた。
- ・THE MATSURI(フロストバレーYMCA関係)より1,000ドルのご寄付をいただいた。
(東日本大震災と西日本豪雨災害、各支援募金に500ドルずつ)